

Docket No. 201989US3



3764

IN THE UNITED STATES PATENT AND TRADEMARK OFFICE

IN RE APPLICATION OF: Hirokazu SAKAI, et al.

GAU: 3764

SERIAL NO: 09/760,786

EXAMINER:

FILED: January 17, 2001

FOR: DETERGENT CONTAINER WITH MASSAGE BRUSH

RECEIVED

JUN 08 2001

REQUEST FOR PRIORITY

ASSISTANT COMMISSIONER FOR PATENTS  
WASHINGTON, D.C. 20231

TECHNOLOGY CENTER R3700

SIR:

- ☐ Full benefit of the filing date of U.S. Application Serial Number [US App No], filed [US App Dt], is claimed pursuant to the provisions of 35 U.S.C. §120.
- ☐ Full benefit of the filing date of U.S. Provisional Application Serial Number, filed, is claimed pursuant to the provisions of 35 U.S.C. §119(e).
- ☒ Applicants claim any right to priority from any earlier filed applications to which they may be entitled pursuant to the provisions of 35 U.S.C. §119, as noted below.

In the matter of the above-identified application for patent, notice is hereby given that the applicants claim as priority:

COUNTRY

Japan

APPLICATION NUMBER

2000-013661

MONTH/DAY/YEAR

January 24, 2000

Certified copies of the corresponding Convention Application(s)

- ☒ are submitted herewith
- ☐ will be submitted prior to payment of the Final Fee
- ☐ were filed in prior application Serial No. filed
- ☐ were submitted to the International Bureau in PCT Application Number .  
Receipt of the certified copies by the International Bureau in a timely manner under PCT Rule 17.1(a) has been acknowledged as evidenced by the attached PCT/IB/304.
- ☐ (A) Application Serial No.(s) were filed in prior application Serial No. filed ; and  
(B) Application Serial No.(s)
  - ☐ are submitted herewith
  - ☐ will be submitted prior to payment of the Final Fee

RECEIVED

MAY 16 2001

TECHNOLOGY CENTER R3700

Respectfully Submitted,

OBLON, SPIVAK, McCLELLAND,  
MAIER & NEUSTADT, P.C.

*Joseph A. Scafetta Jr.*  
C. Irvin McClelland  
Registration No. 21,124

Joseph A. Scafetta, Jr.  
Registration No. 26,803



22850

Tel. (703) 413-3000  
Fax. (703) 413-2220  
(OSMMN 10/98)

09/760.786



日 本 国 特 許 庁  
PATENT OFFICE  
JAPANESE GOVERNMENT

別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されている事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this Office.

出 願 年 月 日  
Date of Application:

2000年 1月24日

出 願 番 号  
Application Number:

特願2000-013661

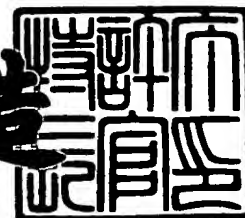
出 願 人  
Applicant (s):

花王株式会社

2001年 2月 2日

特許庁長官  
Commissioner,  
Patent Office

及 川 耕 造



出証番号 出証特2001-3002582

【書類名】 特許願

【整理番号】 P99-714

【提出日】 平成12年 1月24日

【あて先】 特許庁長官 近藤 隆彦殿

【国際特許分類】 A45D 34/00

【発明者】

    【住所又は居所】 東京都墨田区文花 2 - 1 - 3 花王株式会社研究所内

    【氏名】 酒井 宏和

【発明者】

    【住所又は居所】 東京都墨田区文花 2 - 1 - 3 花王株式会社研究所内

    【氏名】 長谷川 宏幸

【発明者】

    【住所又は居所】 東京都墨田区文花 2 - 1 - 3 花王株式会社研究所内

    【氏名】 田中 宏治

【特許出願人】

    【識別番号】 000000918

    【氏名又は名称】 花王株式会社

【代理人】

    【識別番号】 100076532

    【弁理士】

    【氏名又は名称】 羽鳥 修

【選任した代理人】

    【識別番号】 100101292

    【弁理士】

    【氏名又は名称】 松嶋 善之

【手数料の表示】

    【予納台帳番号】 013398

    【納付金額】 21,000円

【提出物件の目録】

【物件名】 明細書 1

【物件名】 図面 1

【物件名】 要約書 1

【包括委任状番号】 9902363

【プルーフの要否】 要

【書類名】 明細書

【発明の名称】 マッサージ用ブラシ付洗浄剤容器

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 上部に開口部を有する容器本体と、該開口部を含めた該容器本体の上部を上方から覆蓋する蓋体とを備え、該蓋体は扁平状の側面を有し、該側面には複数の突起が設けられているマッサージ用ブラシ付洗浄剤容器。

【請求項 2】 前記開口部は前記容器本体の上部の略中央部に設けられており、該開口部を閉蓋する内蓋を有する請求項 1 に記載のマッサージ用ブラシ付洗浄剤容器。

【請求項 3】 複数の前記突起の設けられた前記側面をその側方から被覆する側蓋を備えている請求項 1 又は 2 に記載のマッサージ用ブラシ付洗浄剤容器。

【請求項 4】 前記容器本体及び前記蓋体は、該蓋体が該容器本体の上部を覆蓋した状態において一体的な形態を呈するように形成されている請求項 1 ～ 3 の何れかに記載のマッサージ用ブラシ付洗浄剤容器。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】

本発明は、洗浄剤容器に関し、更に詳しくは、十分なマッサージ効果を得ることのできる蓋体を備えたマッサージ用ブラシ付洗浄剤容器に関する。

【0002】

【従来の技術及び発明が解決しようとする課題】

従来より、洗浄剤容器の蓋体の上面又は下面に複数の突起を設け、シャンプー等の洗浄剤を用いて洗髪する際に、前記蓋体をブラシとして利用可能にした洗浄剤容器が、特開平 1 0 - 2 4 8 6 3 4 号公報等に記載されている。

【0003】

しかしながら、このような洗浄剤容器においては、蓋体の上面又は下面に突起が設けられているため、蓋体の突起が設けられた面（以下「突起配設面」という。）の広さは、容器本体の底面の面積と同じになるか、又はそれより小さくなるのが普通である。また、この種の洗浄剤容器の底面の面積は、通常あまり大きく

ない。

このように、前記蓋体の突起配設面は、マッサージ用ブラシとして利用する際、十分なマッサージ効果が得られる程度の広さを有していない。

また、前記の従来の洗浄剤容器は、容器本体及び蓋体が一体的な形態を呈しておらず、特に、蓋体の突起配設面の広さを大きくした構成とすると、容器本体及び蓋体が一体的な形態を呈するように構成することは極めて困難である。

#### 【 0 0 0 4 】

従って、本発明の目的は、容器本体の大きさに関係なく、蓋体の突起配設面の広さを、マッサージ用ブラシとして利用した際に十分なマッサージ効果が得られる程度に大きくすることができ、更に、容器本体及び蓋体が一体的な形態を呈するように形成することができるマッサージ用ブラシ付洗浄剤容器を提供することにある。

#### 【 0 0 0 5 】

##### 【課題を解決するための手段】

上部に開口部を有する容器本体と、該開口部を含めた該容器本体の上部を上方から覆蓋する蓋体とを備え、該蓋体は扁平状の側面を有し、該側面には複数の突起が設けられているマッサージ用ブラシ付洗浄剤容器を提供することにより、前記の目的を達成するものである。

#### 【 0 0 0 6 】

##### 【発明の実施の形態】

以下、本発明のマッサージ用ブラシ付洗浄剤容器を、その好ましい実施形態について、図面を参照しながら詳細に説明する。

第 1 実施形態のマッサージ用ブラシ付洗浄剤容器は、図 1 に示すように、上部に開口部 1 1 を有する容器本体 1 と、該開口部 1 1 を含めた該容器本体 1 の上部を上方から覆蓋する蓋体 2 とを備え、該蓋体 2 は扁平状の側面 2 1 を有し、該側面 2 1 には複数の突起 2 2 が設けられている。

また、前記開口部 1 1 は前記容器本体 1 の上部の略中央部に設けられており、該開口部 1 1 を閉蓋する内蓋 1 2 を有すると共に、前記容器本体 1 及び前記蓋体 2 は、該蓋体 2 が該容器本体 1 の上部を覆蓋した状態において一体的な形態を呈

するように形成されている。

【0007】

第1実施形態のマッサージ用ブラシ付洗浄剤容器について更に詳述すると、前記蓋体2は扁平状の筒状物であって、該蓋体2の扁平状の前記側面21には複数の前記突起22が縦横に所定の配列で該側面21に対して直角に立設されている。前記突起22の外形は略円錐状で、その先端部は略球面状の曲面となっている。そして、前記突起22の先端部を頭皮に接触させるようにして、前記蓋体2をマッサージ用ブラシとして利用することにより、頭皮のマッサージができるようになる。

また、美観性及び握んだときの滑りにくさを向上させるために、扁平状の筒状物からなる前記蓋体2の突起配設面以外の部分には、水平方向に延びる凸条24が、上下方向に連続的に形成されている。

【0008】

前記容器本体1は、ブロー成形等により内部に中空部13が形成されたものであり、該中空部13には所定の洗浄剤（シャンプー等）を収納できるようになっている。そして、容器本体1の中空部13に収納された洗浄剤は、例えば、開口部11を下向きにして容器本体1の側面を押すことにより、開口部11から注出されるようになっている。

また、容器本体1の側面の一部には、前記蓋体2の凸条24と同様に、凸条14が上下方向に連続的に形成されている。

前述したように構成された第1実施形態の洗浄剤容器は、未使用時には、容器本体1の開口部11を内蓋12により閉蓋し、該開口部11を含めた容器本体1の上部を蓋体2により覆蓋できるようになっている。一方、使用時には、容器本体1の上部から蓋体2を外し、容器本体1の開口部11から内蓋12を外して、開口部11を露出できるようになっている。

【0009】

第2実施形態のマッサージ用ブラシ付洗浄剤容器は、図2に示すように、蓋体2における複数の突起22の設けられた扁平状の側面21を、その側方から被覆する側蓋23を備えている。該側蓋23を蓋体2に装着すると側面21及び突起

2 2 が被覆され、該側蓋 2 3 を蓋体 2 から外すと側面 2 1 及び突起 2 2 が露出されるようになっている。また、側蓋 2 3 は、蓋体 2 に装着した際に、容器本体 1 と蓋体 2 とが一体感を呈するように形成されていることが好ましい。

#### 【0 0 1 0】

また、第 3 実施形態のマッサージ用ブラシ付洗浄剤容器は、図 3 に示すように、閉蓋時において蓋体 2 の側面における突起 2 2 が設けられていない領域の一部（湾曲面 2 5）、及び容器本体 1 の側面の一部（湾曲面 1 5）が、連続的な湾曲面を形成するようになっており、一方、容器本体 1 の側面及び蓋体 2 の側面にはそれぞれ凸条 1 4、2 4 が形成されていない。

また、第 4 実施形態のマッサージ用ブラシ付洗浄剤容器は、図 4 に示すように、蓋体 2 の肩部 2 6 が円弧状に形成されており、一方、容器本体 1 の側面及び蓋体 2 の側面にはそれぞれ凸条 1 4、2 4 が形成されていない。

#### 【0 0 1 1】

第 5 実施形態のマッサージ用ブラシ付洗浄剤容器においては、図 5（a）～（c）に示すように、蓋体 2 に設けた突起 2 2 がマッサージに効果的な形態に形成されている。即ち、第 5 実施形態の洗浄剤容器における容器本体 1 及び蓋体 2 の形態は、図 5（a）～（g）に示すように、第 1 実施形態の洗浄剤容器の形態と実質的に同じであるが、本実施形態の洗浄剤容器における複数の突起 2 2 は、図 5（a）～（c）に示すように、正面視で縦横に配設されており、それぞれ相似形であるが、該突起 2 2 の高さ及び該突起 2 2 の底面の直径の大きさは一定ではなく、該突起 2 2 の各頂点を含む面が仮想曲面を形成するようになっている。更に詳しく説明すると、複数の突起 2 2 は、図 5（a）及び（b）に示すように、平面視において、両端部のものが高く、内側に向かって徐々に低くなるように設けられており、また、図 5（b）及び（c）に示すように、側面視においても、同様に両端部のものが高く、内側に向かって徐々に低くなるように設けられている。

#### 【0 0 1 2】

第 5 実施形態のマッサージ用ブラシ付洗浄剤容器においては、蓋体 2 の上面 2 7 が、図 5（b）～（d）に示すように、上方に凸の曲面状に形成されているた



め、蓋体 2 を容器本体 1 から外した際、その上面 2 7 を下向きにして（即ち、蓋体 2 の開口部を上向きにして）蓋体 2 を床等に載置することができず、蓋体 2 の凹状部に水が滞留することがない。

また、第 5 実施形態のマッサージ用ブラシ付洗浄剤容器においては、蓋体 2 の側面の一部の上端寄り及び下端寄りにそれぞれ溝 2 8 が 3 条設けられているため、特有の形態を呈し且つ樹脂の使用量を軽減できる。

#### 【 0 0 1 3 】

第 2 実施形態～第 5 実施形態の洗浄剤容器においては、前述した構成以外は、第 1 実施形態の洗浄剤容器と同様に構成されており、同じ構成要素については、同一に符号を付してあるので、その説明を省略する。

尚、本発明においては、第 3 実施形態～第 5 実施形態の洗浄剤容器においても、第 2 実施形態の洗浄剤容器と同様に、それぞれ側蓋を設けることができ、また、第 1 実施形態～第 4 実施形態の洗浄剤容器における複数の突起を、第 5 実施形態の洗浄剤容器の突起と同様に構成することもできる。

#### 【 0 0 1 4 】

第 1 実施形態～第 5 実施形態の洗浄剤容器における突起について更に説明すると、硬度、先端部の曲面の直径の大きさ、底面の直径の大きさ、高さ、配列又は植毛密度は、頭皮のマッサージ効果を向上させる上で、それぞれ以下に示すように設定するのが好ましい。

頭皮のマッサージ時における突起の感触を良好にする上で、前記突起のショア硬度（J I S G 0 2 0 2）は、好ましくは 2 0 ～ 8 0 である。

また、頭皮における突起の滑り性をよくし、突起の感触を良好にする上で、突起の先端部の曲面の直径の大きさは、好ましくは 0. 5 ～ 4 m m である。

また、マッサージ時における感触をよくし、且つ突起の弾性を良好にする上で、突起の底面の直径の大きさは、好ましくは 5 ～ 1 0 m m である。

櫛通り性を良好にする上で、突起の高さは、好ましくは 8 ～ 1 2 m m である。同様に、突起の配列は正配列が好ましい。また、マッサージ効率及び洗浄効率を共に良好にする上で、突起配設面における突起の植毛密度は、好ましくは 0. 5 ～ 2. 0 本 / c m<sup>2</sup> である。

また、突起は、その全数が同じ外形である必要はなく、該突起の設けられる位置によって、該突起の高さ及び該突起の底面の直径の大きさ等を段階的に異ならせたり、部分的に異ならせて設けることができる。

#### 【0015】

また、頭皮のマッサージに好適な洗浄剤としては、次の洗浄剤組成物を使用した。

カチオン化ポリマー：0.1～10重量部

ノニオン活性剤：1.0～50重量部

アルコール：1.0～50重量部

#### 【0016】

上記カチオン化ポリマーとしては、カチオン化セルロース、ジアリル4級アンモニウム塩のホモポリマー、ジアリル4級アンモニウム塩／アクリルアミド共重合物、4級化ポリビニルピロリドン誘導体、カチオン性ハイドロゲル、N，N－ジメチルアミノエチルメタクリル酸ジエチル硫酸塩等のカチオン性基含有ビニル単量体と、N，N－ジメチルアクリルアミド等の親水性ノニオン性基含有ビニル単量体と、ポリオキシエチレングリコールジメタクリレート等の2個以上のビニル基を分子中に有する架橋性ビニル単量体とを必須構成単量体とし、ラジカル重合することにより得られたカチオン性基含有共有重合体が挙げられ、上記ノニオン活性剤としては、ポリオキシエチレンアルキルエーテル、ポリオキシエチレン硬化ヒマシ油、ポリオキシエチレンソルビタン脂肪酸エステル、高級脂肪酸（C<sub>10</sub>～C<sub>24</sub>）グリセリンエステル、アルキルアミノオキサイド、アルキルサッカライド系界面活性剤が挙げられ、上記アルコールとしては、エタノール、プロピレングリコール、ブチレングリコール、ポリエチレングリコール、グリセリン、ソルビットが挙げられる。

#### 【0017】

本発明の洗浄剤容器の一使用形態を、第2実施形態の洗浄剤容器の一使用形態について説明する。

容器本体1の中空部13に所定の洗浄剤が収納され、該容器本体1の開口部11が内蓋12により閉蓋され、該開口部11を含めた容器本体1の上部が前記蓋

体 2 により覆蓋されて、更に、蓋体 2 の側面 2 1 及び突起 2 2 が側蓋 2 3 により被覆される。

そして、第 2 実施形態の洗浄剤容器を用いて洗髪する場合には、蓋体 2 の側面から側蓋 2 3 を外し、容器本体 1 の上部から蓋体 2 を外し、容器本体 1 の開口部 1 1 から内蓋 1 2 を外して、開口部 1 1 を露出させてから、該開口部 1 1 から洗浄剤を注出して洗髪する。この際に、容器本体 1 から外した蓋体 2 をマッサージ用ブラシとして利用する。

このようにして、洗髪する際に、蓋体 1 をブラシとして利用し、頭皮をマッサージすることができ、毛根を物理的に刺激して育毛を活性化させることができる。

尚、第 1 実施形態並びに第 3 実施形態～第 5 実施形態の洗浄剤容器も、第 2 実施形態の洗浄剤容器と同様の形態で使用されるが、側蓋を備えていないので、側蓋の着脱は行われない。

#### 【 0 0 1 8 】

第 1 実施形態～第 5 実施形態の洗浄剤容器によれば、容器本体の大きさに関係なく、蓋体 2 の突起配設面の広さを、マッサージ用ブラシとして利用した際に十分なマッサージ効果が得られる程度に大きくすることができる。

また、第 1 実施形態～第 5 実施形態の洗浄剤容器は、内蓋 1 2 を有しているので、蓋体 2 をマッサージ用ブラシとして利用するために容器本体 1 から外している場合に、開口部 1 1 から洗浄剤が流出したり、開口部 1 1 から中空部 1 3 に水が侵入すること等を防止することができる。

更に、第 1 実施形態～第 5 実施形態の洗浄剤容器は、蓋体 2 が容器本体 1 の上部を覆蓋した状態において一体的な形態を呈するように形成されているため、優れた美観性を有している。

#### 【 0 0 1 9 】

また、第 2 実施形態の洗浄剤容器は、側蓋 2 3 を備えているので、上述した実施形態共通の効果に加えて、衛生的である共に、販売店での陳列時に見栄えが良いという効果も得ることができる。

第 5 実施形態の洗浄剤容器においては、突起 2 2 の頂点を含む面が、突起配設

面の中央に向かって徐々に窪んでいる仮想曲面を形成するようになっているので、上述した実施形態共通の効果に加えて、頭皮をマッサージする際、複数の突起 2 2 の先端が頭部の曲面にフィットし、マッサージ効果を一層大きく奏し得るようになっている。

#### 【0020】

以上、本発明のマッサージ用ブラシ付洗浄剤容器を、その好ましい実施形態について説明したが、本発明のマッサージ用ブラシ付洗浄剤容器は、前述した実施形態に制限されることなく、本発明の趣旨を逸脱しない限り適宜変更が可能である。

#### 【0021】

##### 【発明の効果】

請求項1に係る発明の洗浄剤容器によれば、容器本体の大きさに関係なく、蓋体の突起配設面の広さを、マッサージ用ブラシとして利用した際に十分なマッサージ効果が得られる程度に大きくすることができる。また、容器本体及び蓋体が一体的な形態を呈するように形成することができる。

また、請求項2に係る発明の洗浄剤容器によれば、請求項1に係る発明の洗浄剤容器の効果に加えて、蓋体をマッサージ用ブラシとして利用するために容器本体から外している場合に、容器本体の開口部からの洗浄剤の流出及び前記開口部から中空部への水の侵入等を防止する効果も得ることができる。

また、請求項3に係る発明の洗浄剤容器によれば、請求項1及び2に係る発明の洗浄剤容器の効果に加えて、衛生的である共に、販売店での陳列時に見栄えが良いという効果も得ることができる。

また、請求項4に係る発明の洗浄剤容器によれば、請求項1～3に係る発明の洗浄剤容器の効果に加えて、優れた美観性を得ることができる。

##### 【図面の簡単な説明】

##### 【図1】

本発明のマッサージ用ブラシ付洗浄剤容器の第1実施形態を示す図で、(a)は容器本体に蓋体を覆蓋した状態を示す斜視図、(b)は容器本体から蓋体を外した状態を示す斜視図である。

【図 2】

本発明のマッサージ用ブラシ付洗浄剤容器の第 2 実施形態の要部を、一部変更して示す図で、側蓋を蓋体に装着している状態を示す側面部分断面図である。

【図 3】

本発明のマッサージ用ブラシ付洗浄剤容器の第 3 実施形態を示す図で、(a) は容器本体に蓋体を覆蓋した状態を示す斜視図、(b) は容器本体から蓋体を外した状態を示す斜視図である。

【図 4】

本発明のマッサージ用ブラシ付洗浄剤容器の第 4 実施形態を示す図で、(a) は容器本体に蓋体を覆蓋した状態を示す斜視図、(b) は容器本体から蓋体を外した状態を示す斜視図である。

【図 5】

本発明のマッサージ用ブラシ付洗浄剤容器の第 5 実施形態を示す図で、(a) は平面図、(b) はその正面図、(c) はその側面図、(d) はその背面図、(e) は蓋体を外した状態の容器本体の上部を示す側面図、(f) は(e)の背面図、(g) は(e)の平面図である。

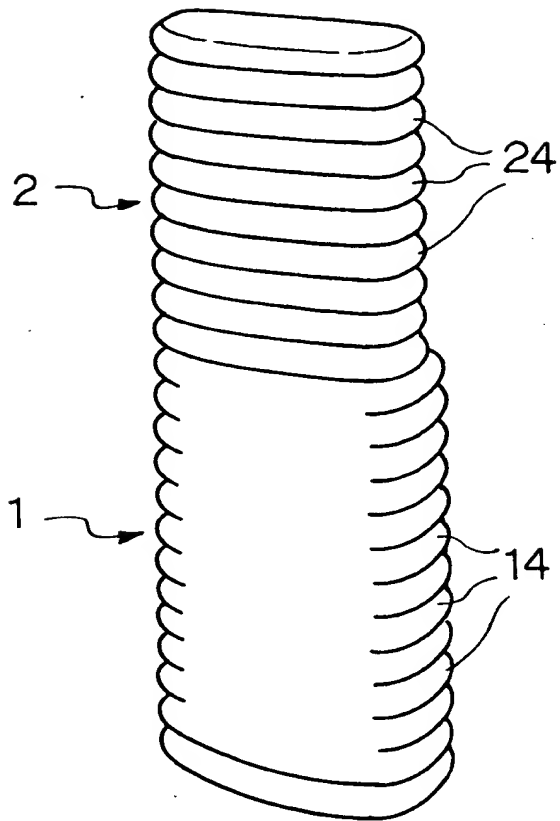
【符号の説明】

- 1 容器本体
  - 1 1 開口部
  - 1 2 内蓋
- 2 蓋体
  - 2 1 側面
  - 2 2 突起
  - 2 3 側蓋

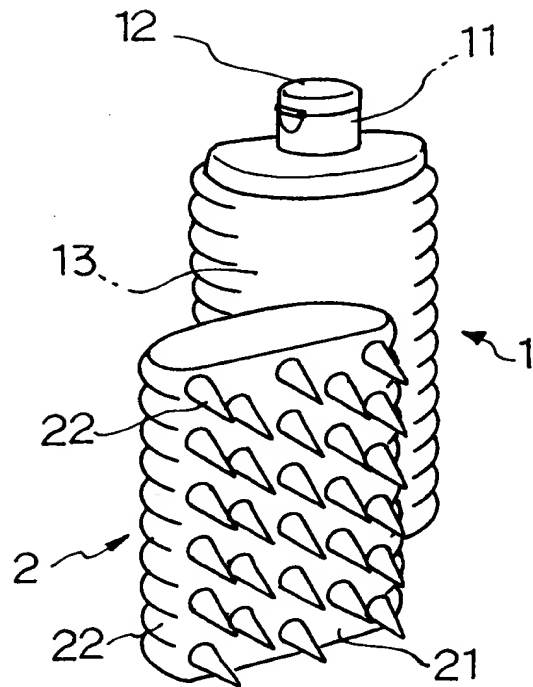
【書類名】 図面

【図 1】

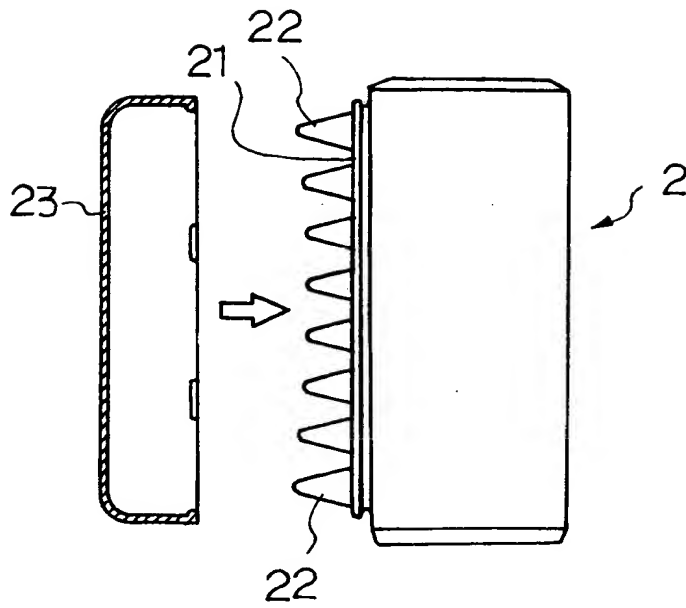
(a)



(b)

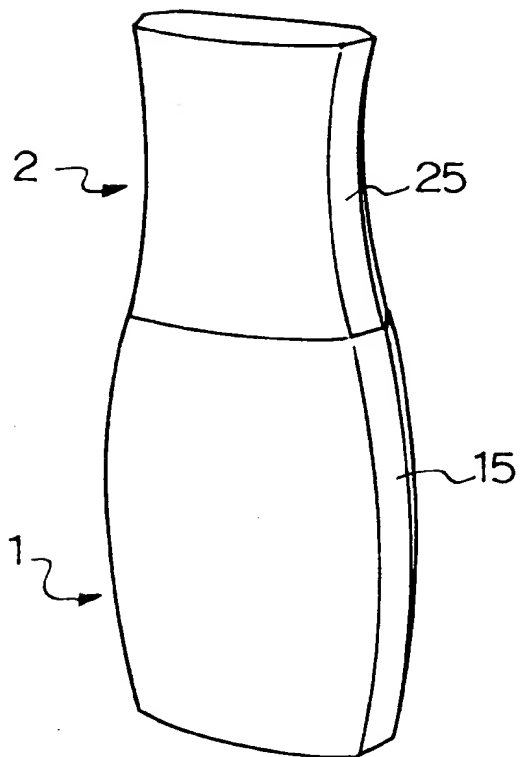


【図 2】

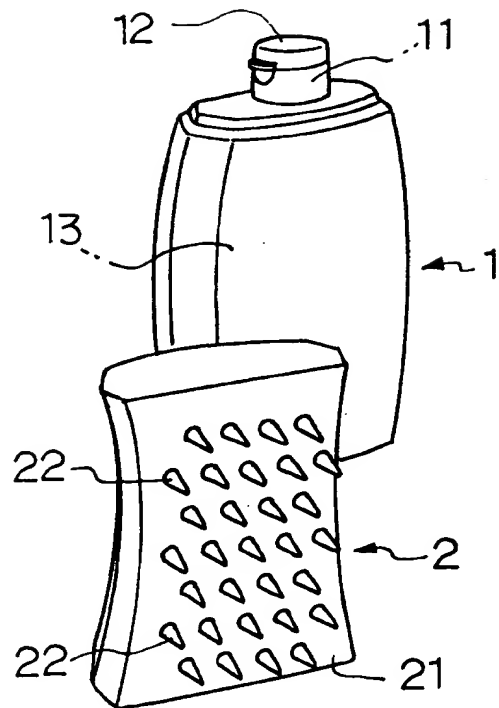


【図 3】

(a)

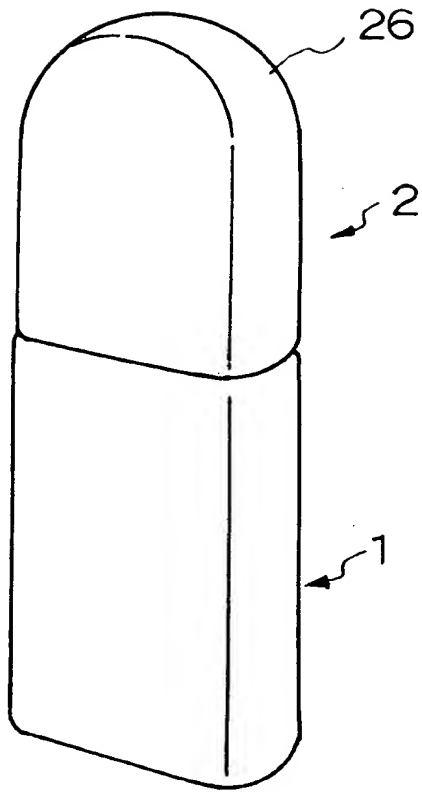


(b)

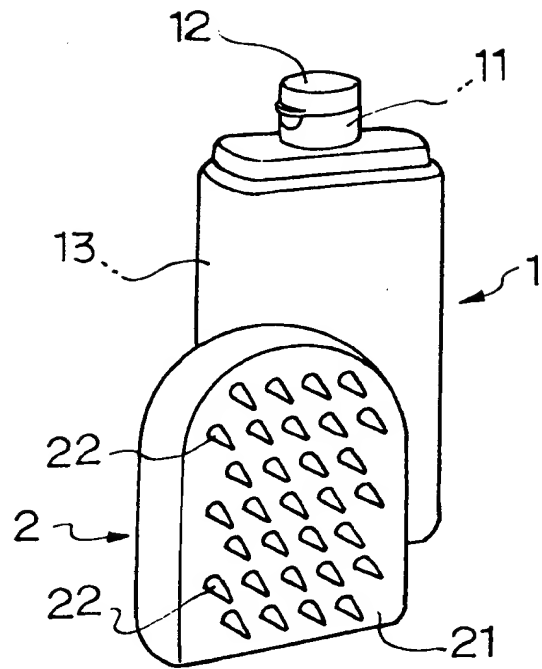


【図 4】

(a)

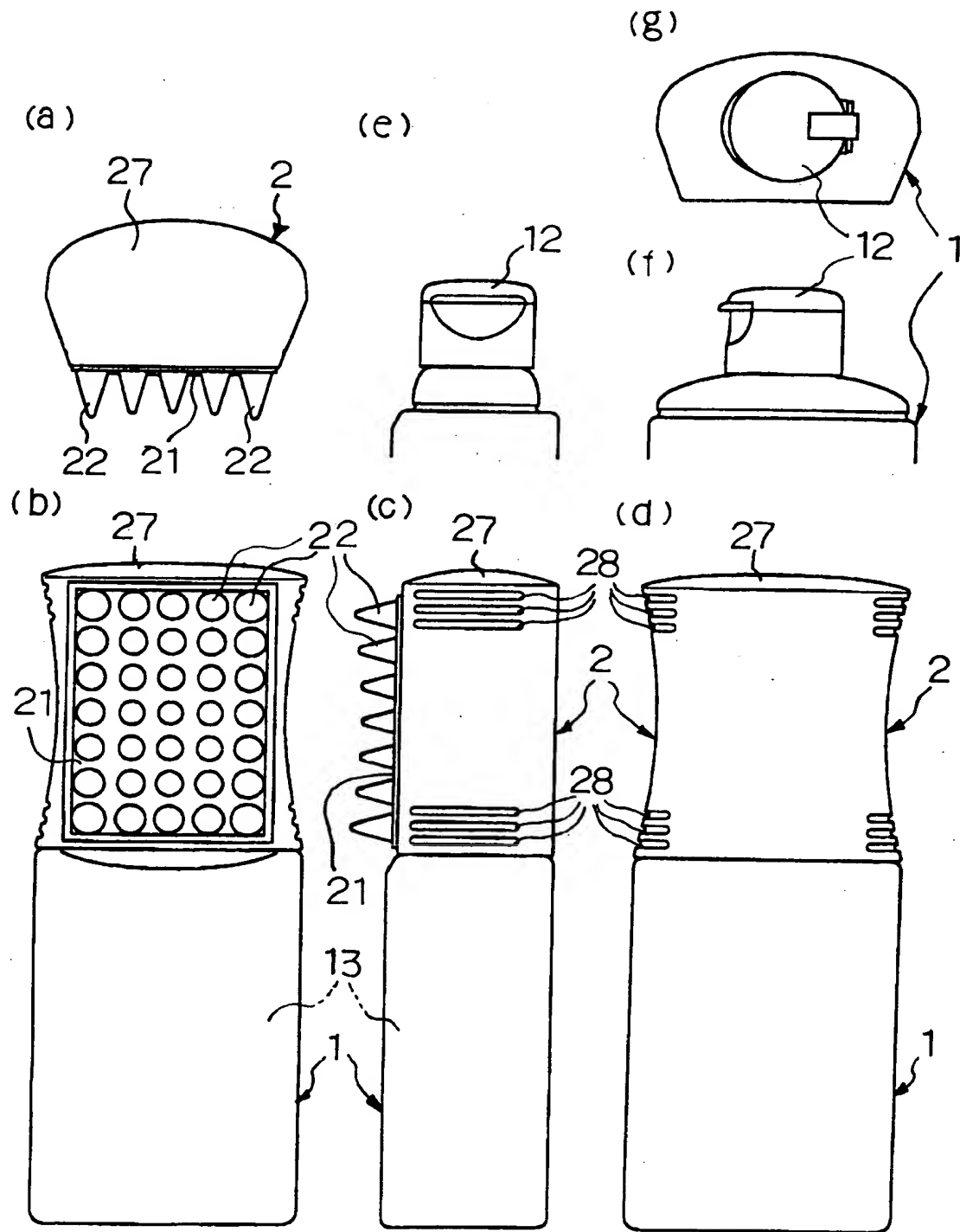


(b)





【図5】



【書類名】 要約書

【要約】

【課題】 容器本体の大きさに関係なく、蓋体の突起配設面（蓋体の突起が設けられた面）の広さを、マッサージ用ブラシとして利用した際に十分なマッサージ効果が得られる程度に大きくすることができ、更に、容器本体及び蓋体が一体的な形態を呈するように形成することができるマッサージ用ブラシ付洗浄剤容器を提供する。

【解決手段】 上部に開口部 1 1 を有する容器本体 1 と、該開口部 1 1 を含めた該容器本体 1 の上部を上方から覆蓋する蓋体 2 とを備え、該蓋体 2 は扁平状の側面 2 1 を有し、該側面 2 1 には複数の突起 2 2 が設けられている。また、前記開口部 1 1 は前記容器本体 1 の上部の略中央部に設けられており、該開口部 1 1 を閉蓋する内蓋 1 2 を有する。

【選択図】 図 1

出 願 人 履 歴 情 報

識別番号 [000000918]

1. 変更年月日	1990年 8月24日
[変更理由]	新規登録
住 所	東京都中央区日本橋茅場町1丁目14番10号
氏 名	花王株式会社

68759 UKH

030467

經濟部智慧財產局專利核駁審定書

正本

受文者：花王股份有限公司（代理人：陳長文先生）

地址：台北市敦化北路二〇一號七樓

發文日期：中華民國九十年十月三十一日  
發文字號：（九〇）智專一（四）02042字

第〇九〇八三〇一九一二三號

- 一、申請案號數：〇九〇一〇〇九二一
- 二、發明名稱：具有按摩刷之清潔劑容器
- 三、申請人：

名稱：花王股份有限公司

地址：日本

- 四、專利代理人：

姓名：陳長文先生

地址：台北市敦化北路二〇一號七樓

- 五、申請日期：九十年一月十六日

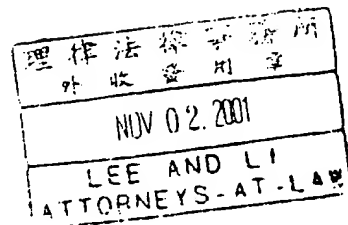
- 六、優先權項目：1 2000/01/24 日本2000-13661

- 七、審查委員姓名：宋志堅 委員

專利分類第七版：A45D 34/00

0/2 1/5

1/29



裝

訂

線

(2) 25

#### 八、審定內容：

主文：本案應不予專利。

依據：專利法第二十條第二項。

理由：

- (一) 本案「具有按摩刷之清潔劑容器」係包括一具有開口在頂部之本體及一蓋，該蓋係遮蓋包括該開口之本體上端，其中該蓋係具有一平坦側邊及複數突起物在該平坦側邊上者。
- (二) 按本案設計在提供一具有按摩刷之清潔劑容器，該刷係具有一與容器大小不對稱之可產生滿意按摩之刷面積者；惟上開所採之技術手段實已揭示美國專利公報一九八五年八月六日公告之第四五三三二七三號「APPLICATOR FOR AEROSOL-TYPE CONTAINERS」（如附件，下稱引證案），引證案中容器上即設蓋體，蓋體面亦設有粗硬刷毛，藉以可有效獲致刷理之效果者；與引證案相較，本案僅係突出物(22)與蓋體所致空間型態上之變化或改變，並無特別之技術創作或顯著之進步性。

- (三) 綜上所述，本案係運用申請前既有之技術，而為熟習該項技術者所能輕易完成，故本案不符發明專利之要件。

據上論結，本案不符法定專利要件，爰依專利法第二十條第二項，審定如主文。

裝

訂

線

局長 陳明邦

依照分層負責規定授權單位主管決行

如不服本審定，得於文到之次日起三十日內，備具再審查理由書一式二份及規費新台幣參仟伍百元整，向本局申請再審查。

